

第4次プランの評価・今後の課題について

1 令和2年度から令和4年度までの3年間の主な実績と課題について

基本目標Ⅰ 男女一人ひとりを人として尊重する意識づくり

基本的課題

- ・互いの性と人権を尊重する意識づくり
- ・社会と家庭における男女共同参画の意識づくり
- ・人の多様性を認め、人権を守ろうとする人権感覚を育成する教育の推進

指標の達成状況

- 1 男女が平等に扱われていると思う市民の割合は、目標値の40%に達している。
- 2 「男女共同参画社会」という言葉の認知度は、100%という目標値には達していない。
- 3 学校教育の場で男女が平等に扱われていると思う市民の割合は、目標値の70%には達している。

施策に対する事業の達成状況

令和4年度の事業実績においては、11事業12項目すべてで目標を「達成できている」若しくは「ほぼ達成できている」という結果であった。

3年間の評価と今後の課題と取組（案）

指標2については、目標値に達していないが、令和4年度は90%を超えた数値となったことから認知度はあがっていると思われる。一方、指標3については、目標値は達成しているものの、年々数値が下がってきているため、教育や学習の充実を図る必要がある。一方、各課の達成状況は良好である。

今後も引き続き、意識づくりのための情報提供や理解促進に向けた講座等の実施を行っていく。また、教育や学習の充実を図り、学校や家庭教育等の場における男女共同参画や人権教育を推進することで、男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくりに取り組んでいく。

基本目標Ⅱ 一人ひとりが個性と能力を活かして活躍できる環境づくり	
基本的課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた仕事と生活の調和の推進 ・政策・方針決定過程における男女共同参画の推進 ・家庭生活や地域活動における男女共同参画の推進 ・就業及び労働の場における男女共同参画の推進 	
指標の達成状況	
4	子育てに係る不安や負担が軽減されていると感じる保護者の割合は、目標値の82.0%に達していない。
5	男性職員の育児休暇制度の周知率は、目標値の100%に達している。
6	男性職員の育児休業又は育児に係る特別休暇取得率は、目標値の90%に達し、令和4年度は100%となった。
7、8	審議会等への女性の登用率（附属機関対象）及び、審議会等への女性の登用率（執行機関を除く附属機関等）は、目標値の40%に達していない。
9	女性のいない審議会は、目標値の9.1%未満を達成している（1つの審議会のみ）。
10	市女性職員の管理職への登用率は、19%前後となっている（第3次プランでは15%前後だった）が、年2ポイント上昇の目標には達していない。
11	コミュニティ活動参加者の割合は、目標値の65%に達していない。
12	男性の家事・育児・介護に費やす時間（平日）及び（休日）は、目標値の（平日）2.5時間、（休日）4時間に達していない。
13	介護支援サポーター登録者数は、前年度比10%増加という目標は達していない。
14	「男は仕事、女は家事育児」という固定的な見方をしている人の割合は、目標値の8.6%未満に達していない。
15	職場において「男女の地位が平等になっている」と考える人の割合は、毎年微増しているが目標値の50%には達していない。
施策に対する事業の達成状況	
<p>令和4年度の事業実績においては、37事業103項目のうち、93項目で目標を「達成できている」若しくは「ほぼ達成できている」という結果であった。「あまり達成できていない」が10項目であったが、そのうち8項目が「各審議会における男女の委員割合が4割を下回らないようにします。」という指標が達成できなかったことからだった。</p>	
3年間の評価と今後の課題（案）	
<p>指標5、6については、男性職員への特別休暇の周知及び取得率が目標値に達しており、成果があったことがわかる。一方、第3次プランでも目標未達成であった指標7、8については、前回のプランより実績数は上がったものの、現在の</p>	

ところ第4次プランでも目標を達成できていないため、引き続き具体的方策を検討し取り組んでいく必要がある。

基本目標Ⅱについては、13指標のうち令和4年度だけみても、3指標しか目標に達していないが、一方、事業実績は高い評価となっており、あらゆる分野で活躍できる環境づくりに向けて、施策の方向性と各課の取組方法の適格性や内容を社会状況等とも合わせて見直す必要がある。

基本目標Ⅲ 生涯を通じて誰もが健康で安心して暮らせる社会づくり	
基本的課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが健康で安心して暮らせるしくみづくり ・子どもと家庭を地域で支えるしくみづくり ・防災分野における男女共同参画の推進 	
指標の達成状況	
16	市が実施しているひとり親施策を知っている人の割合は上昇しているが、目標値の70%には達していない。
17	生きがいを感じる高齢者の割合は、令和3年度は目標値の82%に達したものの、令和4年度は目標値に達していない。
18	流山市は子育てがしやすいまちだと思える保護者の割合は、目標値の71%に達していない。
19	防災会議の女性委員の割合は、目標値の20%に達している。
20	防災リーダー研修への女性の参加率は、目標値の30%に達していない。
施策に対する事業の達成状況	
令和4年度の事業実績においては、24事業47項目のうち、45項目でA（達成できている）若しくはB（ほぼ達成できている）という結果であった。	
3年間の評価と今後の課題（案）	
<p>基本目標Ⅲについては、5指標のうち令和4年度は1指標しか目標に達していないが、一方、各課の達成状況の結果は高い評価となっている。評価が低い事業については、新型コロナウイルス感染症の対策で講座や研修等が中止になった影響もあると考えられる。</p> <p><u>引き続き、誰もが健康で安全・安心して暮らせる社会づくりを目指して、健康づくりの促進や防災分野における男女共同参画の推進への取組を行うこと、また、あらゆる暴力の根絶と被害者支援を行うとともに人権の尊重への理解を深めていく必要がある。</u></p>	

基本目標Ⅳ プランの推進体制の充実	
基本的課題	
・プランの進行管理	
指標の達成状況	
21	第4次プラン事業の達成度は、目標値の100%には達しないが、毎年上昇している。
施策に対する事業の達成状況	
令和4年度の事業実績においては、8事業8項目すべてが、A（達成できている）という結果であった。	
3年間の評価と今後の課題（案）	
基本目標Ⅳについては、100%には届かないものの指標が毎年上昇していること、また、各課の事業達成状況が全てA評価だったことから、計画通り実施してきたことがうかがえる。	
<u>第5次プランでは男女共同参画社会への実現に向けた基盤づくりを更に行うため、意識改革の促進や推進体制を強化する取組が必要となる。</u>	

≪全体評価≫

指標については、21指標のうち、6指標が令和4年度時点で目標値を達成しており、プラン策定時より向上したと考えられる。しかし、一方で、継続して目標値を達成できない指標や、目標値は達しているものの数値が下降している指標もある。また、現在の社会状況から既に今後の目標達成が見通せない部分もあり、第5次プラン策定の際には内容の見直しも必要である。

一方、事業を推進する担当課の評価は、170項目のうち158項目がA（達成できている）またはB（ほぼ達成できている）の評価となったことから、達成状況は良好であり、各課がプランに掲げた事業を計画どおり実施してきたといえる。

第5次プランでは男女共同参画推進に係る環境づくり、社会づくり、基盤づくりが課題となる。指標を検討する際も、妥当性や適格性を十分に検証した上で作成し、目標値の設定についても精査する必要がある。